

親の会 だより

第92号

発行日：H29.11.1

発行

岩手県ことばを育む親の会

会長：主演 友子

事務局

盛岡市立桜城小学校

きこえとことばの教室内

《岩手県ことばを育む親の会一関大会》

六月二十四日(土)一関文化センターにおいて、県親の会大会一関大会が、来賓等を含め三百名を超す参加者により盛大に開催されました。開会行事では、主催者である県親の会会長 主演友子、実行委員長 村上千鶴の挨拶に続き、本会の充実・発展に寄与されました十五名の方々の表彰式を行いました。特にも今回は、県親の会五十周年記念大会実行委員長 白澤弘泰氏と大会長 佐々木信孝氏へ特別表彰状をお贈りしました。

多くの方々の協力と連携が感じられる大会となりました。



講演会

講演は、一関市在住の松谷俊克さんが、「クラウンマインドとその活動から見える子育てのヒント」というテーマでお話してくださいました。

「クラウンマインド」のクラウンとはサーカスの道化師のこと、また、マインドは心・精神ですから、「道化師の心」という意味です。この活動を通し、周りの人に心の安らぎと喜びを与えることと伝えるでしよう。

松谷さんは、「クラウンろっく」として、お子さんと一緒に各地で様々なパフォーマンスを繰り広げられています。

「大人が笑えば、子どもが笑う。あなたが笑えば、みんなが笑う。」と松谷さんは語ります。まずは、自らがはじめの一步を踏み出すことで、思いや行動が相手に伝わり、そしてその輪がどんどん広がれば私たちは幸せになれると。震災後被災地へ足繁く訪れ、今後は病院での活動もしたいと話さ

れました。困っている人たちや苦しんでいる人たちに笑いを届けられるよう益々のご健闘をお祈りしております。

学習会

「これまでの歩みから、今親の会活動を考える。～LD等通級指導教室の開設と親の会活動～」と題して、パネルディスカッション形式で親の会の役員や担当者など四名が意見を交換しました。一関市は県内に先駆けてLD等通級指導教室が設置されましたが、開設までの道のりは平たんなものではありませんでした。親の会をはじめ関係の方々が、制度がない中での対応を迫られ、手さぐりで開設に向けての活動を進めてきたとのことでした。当時の労苦がよみがえり涙ぐまれ言葉につまる一幕もあり、その思いの強さに感銘を受けました。

また、「一関支部は家族です。」と参会者に伝える姿に一関支部の結束力と推進力の強さを感じることができました。



《県親の会総会》

一関大会に引き続き、今年度の総会が行われました。来賓として岩手のことばを語る会 会長 若松三郎氏にご祝辞をいただきました。

事務局より昨年度の活動経過報告・決算報告があり、今年度の活動方針・事業計画・予算案が提案され可決されました。また、今年度は役員改選の年にあたり、新役員は次のように選任されました。

会長 主演 友子(再任)

副会長 岡崎 清弘(再任) 林 義明(前事務局長)

小崎 真崎(再任) 櫻岡 正久(再任)

事務局長 小原 俊彦(前副会長)

会計監事 橋本 政樹(再任) 田口 好子(再任)

今年度もブロック研修会を開催していただきます。情報交換や学習会等、親の会や子育てについての理解が深まるような企画・運営をお願いいたします。

《幼児期の言語教育研修講座》

県内の幼稚園・保育園（所）・こども園の先生や保健師、学校関係者を対象として、八月二十六日（土）にいわて県民情報交流センター「アイーナ」において、「幼児期の言語教育研修講座」を開催しました。参加者は百四名でした。

講演では「こころとことばを育む」と題し、学校法人内丸学園 幼保連携型認定こども園 盛岡幼稚園園長 坂本 信行氏に、幼稚園・保育園（所）・こども園の先生のかかり方についてお話ししていただきました。講座Aでは、「幼児期のことばの発達」として盛岡市立杜陵小学校 指導教諭 森田 巧先生に、ことばの発達について詳しくお話ししていただきました。

選択講座は、講座B「ことばに関する課題」講師 岩手県立総合教育センター 研修指導主事 平浩一先生、講座C「子どもの行動」講師 岩手県自閉症協会 会長 熊本葉一先生、講座D「幼児教室」講師 一関市教育委員会 幼児いことばの教室指導員 佐々木 奈良美先生の三つに分かれて行いました。簡単なことばの検査の方法や、発達障がいの子どもの理解、幼児期の心を育てるのかかわり方等についての研修でした。

また、現在困っていることや悩み事についての相談にも、講座終了後に応じていただきました。



県親の会からのインフォメーション

◎県内の支部のブロック交流会が行われています。近隣の支部の情報の共有や課題についての交流なども行っています。各支部の活性化にも役立つものと思われれます。なお、意見や質問等がありましたら、県役員を通して県事務局にお知らせください。

◎すっぴんの会「吃音がある子と保護者の交流会」

- ・日時 平成三十年一月二十日（土） 十時～十二時
 - ・会場 いわて県民情報交流センター アイーナ六階 世代間交流室
- ※各教室から、案内が配付されますので、是非ご参加ください。

《全国難聴児を持つ親の会代表者研修会・総会》

六月二十四日（土）二十五日（日）に東京において、「全国難聴児を持つ親の会研修会・総会」が開催されました。

研修会では、補聴器・人工内耳機器の会社から新しい機器の紹介がありました。講演会の講師は、岩手県立盛岡聴覚支援学校 指導教諭 永野哲郎先生でした。「合理的配慮に関わる状況」についての話を聞きました。各県の保護者との有意義な情報交換もできました。

全国難聴児を持つ親の会の会長を務めていた高屋敷 光男 様が退任されました。また、県親の会でも平成九年度から八年間事務局長として、続いて、参与・顧問としてご尽力いただきましたが、今年度、退任されました。

長い間、全国の難聴児が学習・生活しやすい環境を整えるため、各地を駆け巡り、ご尽力されました。本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございます。



高屋敷光男 様



永野哲郎 様

《全国ことばを育む会 全国大会 四国大会》

八月五日（土）六日（日）に四国の玄関口、香川県において、「全国ことばを育む会 全国大会四国大会」が開催されました。来賓として、文科省特別調査官 庄司美千代 様、全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 会長 寺崎晶子 様、香川県知事 浜田恵造 様等が出席されました。

講演会では、AI（人工知能）時代に生きる子どもたちや大人の个性的な学び方や働き方についての話を聞きました。身の回りのテクノロジーを使って自分らしく生きる等、特別支援の考え方が広がるような内容でした。分科会は十二に分かれ、発達障がい年齢段階別に六つありました。パネルディスカッションでは、医療、教育、福祉、就労の立場の方々が、ライフステージにおける課題解決のため支援をどのようにつなげていくかについて、それぞれの立場から話されました。「人と人がつながる支援」というテーマに沿う素晴らしい大会でした。